

直近の世論調査から－2021.9.8(菅内閣ついに退陣表明。総裁選で自民に活気！)

1. ついに菅内閣退陣へ！…支持率下げ止まらず8月30.1%に。総裁選挙で自民に活気！

内閣支持率

8月	支持	不支持
日経8.30	34	56
毎日8.28	26	66
読売8.10	35	54
朝日8.9	28	53
共同8.16	31.8	50.6
時事8.13	29.0	48.3
NHK8.10	29	52
JNN8.9	32.6	63.5
ANN8.23	25.8	48.7
平均	30.1	54.7
7月平均	33.6	51.9
前月比	-3.5	2.8

参考FNN 32.1 61.3

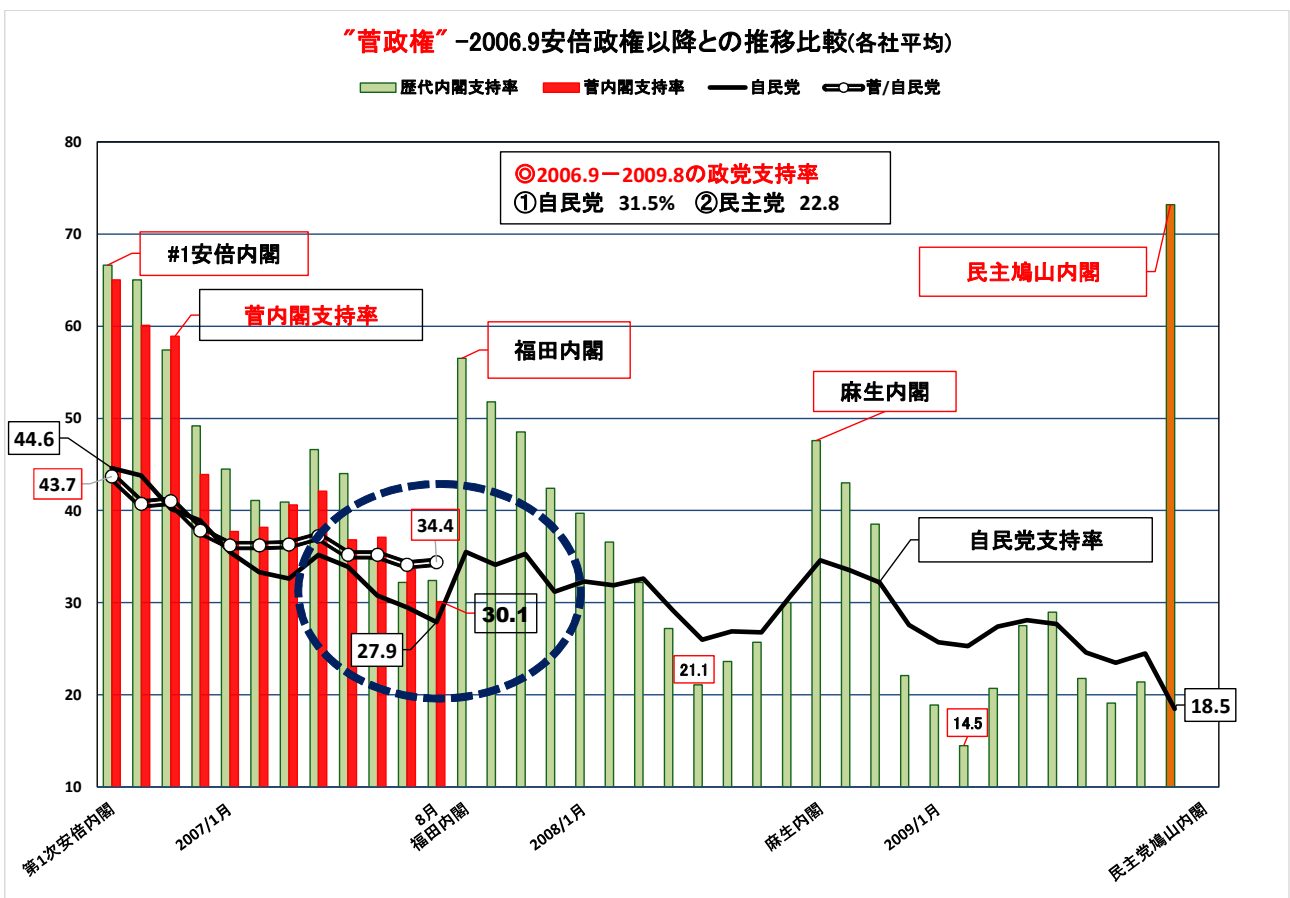
①突然の報道だった。菅首相は9月3日午前、17日からの自民党総裁選（29日投開票）には立候補せず退陣することを表明した。記者会見では「新型コロナ対策に専念をしたいという思いの中で、自民党総裁選挙には出馬をしない」と理由を述べたが、「菅義偉という政治家個人の、生き残りのためのあがき。万策尽きての退陣」であったことは明らかだった。内閣の支持率は各社とも最悪記録を更新し続け、8月の支持率は30.1%（前月比▼3.5%減。不支持が54.7%。9社平均）にまでなっていた。

直後に日経平均株価も2カ月ぶりに2万9000円台を回復した。市場は「与党の政権運営が安定するとの期待から、株価が上向きに転じた」と見られている。8月の世論調査でも「菅氏に総理・総裁を続けてほしい」との声は26%しかなく、早期退陣の声は63%だった（朝日・共同の二択回答）。読売・日経・FNN調査の三択回答

菅氏に総理・総裁を続けてほしいか		
8月	続けてほしい	ほしくない
朝日/共同	26	63
読売など3社	①すぐに交代を 18.0	
	②9月末任期まで 49.4 ③それ以上 27.3	

（平均）でも「すぐに交代を」18.0%+「9月任期一杯まで」49.4%＝早期退陣67.4%で、政権継続に期待するのは27.3%というものだ。退陣を促す世論に抗して菅氏は「総裁選を飛ばして解散総選挙」などの奇策を弄したのだが、既に党内も人心は離れ、万策尽きての退陣表明となったわけである。

②次の図は先月レポートでも紹介したが、やはり「一年内閣」（短期政権）時代の再来が現実化した(!?)。少し違うのは、自民党の支持率が少し下げ止まっている感があることだ。この1年で自民党の支持率は43.7%から8月34.4%へと▼9.3%下落したが（7月34.1%）、かつての第1次



安倍内閣の時代には1年間で44.6%から27.9%へ▼16.7%もの下落幅だった。「かつての自民党

大崩壊→政権交代」を経験した遺伝子が危機のシグナルを發し、中堅若手が菅内閣退陣を促した「**党の復元力**」的要素が働いていると考えられる。

自民党総裁選立候補予定者			
	JNN9.6	共同9.6	読売9.6
河野	22	31.9	23
石破	21	26.6	21
岸田	14	18.8	12
野田	3	4.4	2
高市	3	4.0	3

菅退陣表明で開かれた「パンドラの箱」からは岸田、河野、石破、高市、野田、下村といった面々が手を上げて一気に「総選挙の主役は自民党」というメディアムードが広がった。立憲などの野党にとっては衆院選挙戦略が根底から覆るような事態だ。先の図にもあるように、新首相誕生の際には「ご祝儀相場」で間違いなく内閣支持率と自民党支持率が上がる。その勢いのまま総選挙に突入することは自民党にとっての選挙情勢を有利に展開させることは必至だからだ。今のところ総裁選挙に立候補予定は上表にまとめた5人に絞られたようだ(石破はまだ政治的判断に迷っているようだが)。総裁選挙の焦点は、報道される限りでは「安倍・麻生らのボス支配が打破できるか」「説明しない政治—森友・加計・桜、1億5千万などの解明」「脱原発への転換」などで、意外と政治的関心を高めそうな争いになるのか注目される。真っ先に手を上げた岸田は、名門、穏健保守・リベラル色の強かった旧宏地会出身なのだが、「安倍に接近して改憲を約束した」などの報道もあり、山口二郎氏は「自民党のリベラル派とか宏池会とか、すべて幻想なのだ。安倍、菅の9年間で自民党はすっかり別の政党に変わってしまったのだ。もはや、知性も良心もなし。」(8.26)と囁いていた。

誰が新総理になっても、来年は参議院選挙の年だ。9年ぶりに再燃・公然化した党内紛争は、かつての小泉純一郎のように、世論の力を背景に自民党内を圧倒し統治できそうな人材は居らず、党内の争いは来年にも続きそうだ。

2. 東京五輪の総括と政府のコロナ対応、ワクチン問題

③東京五輪が終わって、パラリンピックが24日に開幕した。9月5日までの13日間は、五輪

東京五輪を開催したことは

	よかった	よくなかった
朝日8.9	56	32
JNN8.9	61	36
読売8.10	64	28
NHK8.10	62	34
共同8.16	62.9	30.8
FNN8.23	55.6	35.5
日経8.30	57	35
平均	59.8	33.0

五輪は安心安全な大会にできたか

	できた	できなかった
朝日8.9	32	54
読売8.10	38	55
NHK8.10	31	57
平均	33.7	55.3

と言って良いだろう。

ただしANN調査のように「あなたは、この時期にオリンピックを開催して、良かったと思いますか、良くなかったと思いますか？」という聞き方になると「よかった」は38%、「よくなかった」44%と、やや否定的な答えが多くなった。同様に、時事のように「開催は適切だったと思うか」という聞き方になると賛否が拮抗し、「東京五輪は感染拡大につながったと思うか」「自粛ムードは緩んだと思うか」という問いでは、6割以上の人は感染拡大につながったとの認識を持っている。

パラリンピックの開催に際しては「無観客で」という答えが65.0%で7月調査(二択回答で68.5%、三択で38.5%)より多くなり、「観客を入れて」は11.8%に減少し(同二

東京パラは開催してよかったか

	よかった	よくなかった
JNN9.6	66	32
共同9.6	69.8	26.3
平均	67.9	29.2

東京五輪をこの時期に開催したことは

	よかった	よくなかった
ANN8.23	38	44

五輪の開催は適切だったと思うか

	適切だった	適切でなかった
時事8.13	38.0	35.5

五輪はコロナ感染拡大につながったと

	8月直近	そう思う	思わない
JNN8.9	60	37	
共同8.16	59.8	36.4	
毎日8.28	70	21	
平均	63.3	31.5	

五輪で自粛ムードは緩んだと思うか

	ゆるんだ	そうでもない
朝日8.9	61	32

に劣らぬメダルラッシュでにぎわった。東京五輪に対する世論の評価は8月の調査で大体定まった。まず“東京五輪が開催されて良かったかどうか”と素直に聞いた調査(7社平均)では「よかった」が59.8%、「よくなかった」が33.0%と7月調査の同「60.8%と30.1%」とほぼ同じ結果になった。“安全・安心な大会にできたか”の問いでは「できた」が33.7%、「できなかった」は55.3%(3社)という調査結果で、これも7月の同「32.3%と59.3%」とほぼ同じ

8.24からのパラリンピック開催について

JNNなど4社	①観客を入れて開催 11.8
	②無観客での開催 65.0 ③中止すべき 20.9

23.8%)、「中止すべき」は20.9%になった(4社平均。7月は三択回答のみでも35.4%あった)。パラリンピックそのものの評価は9月の調査になるが、直近の2社でも「よかった」が67.9%

新型コロナ—政府の対応をどう評価

	評価する	評価しない
10社平均	26.2	64.0

4回目の緊急事態宣言について

JNN8.9 ①妥当だ 41

②厳しすぎる 6 ③緩すぎる 49

4回目の緊急事態宣言の効果は

	効果ある	効果ない
JNN8.9	23	76
NHK8.10	27	69
平均	25.0	72.5

緊急事態宣言とまん防の拡大・延長

	支持する	支持しない
ANN8.23	48	40
	効果ある	効果ない
FNN8.23	28.4	70.4
毎日8.28	16	64
平均	22.2	67.2

よくなっている。

「自宅療養を基本とする」医療供給体制に対する批判も高く医療崩壊に対する不安・不満・批判は7割～8割にまで高まってきている。

ワクチンを接種の政府の取り組みは

	順調だ	遅い
朝日8.9	20	73
時事8.13	16.3	72.4
共同8.16		75.5
FNN8.23	29.3	67.5
日経8.30	26	70
平均	22.9	71.7

ワクチン拡大すれば感染収束すると

	そう思う	思わない
FNN8.23	29.4	64.6

ワクチンパスポートを発行することに

	賛成	反対
ANN8.23	46	35

飲食店に接種証明書の提示を

	賛成	反対
日経8.30	61	28

ワクチン証明書で参加条件つけることに

	賛成	反対
朝日8.9	47	42

「飲食店への提示」（賛成 61%）を除いて、国民世論は態度を決めかねているかのように見受けられる（賛否の差は小さい）。

3. 秋の総選挙で「自民党議席は250±10議席」（自民党調査）。それとも…

⑥総選挙では「自民党が過半数割れするか、与野党伯仲になるか」ということが焦点だと自民党幹部自ら発言していた(7月レポート)。最近の報道では、自民党の独自調査では「250議席±10議席」という少し控えめのものから、「自民党が最近行った『衆院選の情勢調査』で、40～70議席減らすかもしれないという結果が出た」というものもある。過半数が233議席。今は自民党が276議席、公明党が29議席。「ここから40議席減ると236で、自民党単独で過半数ギリギリ。仮に70減ると206になり、自民党単独はおろか、公明党と足しても235議席で過半数ギリギリ。大幅に議席を減らすかもしれない、という調査結果でした」(NNN)。

この基本的情勢が変わったわけではないが、直近の自民党総裁選挙で、自民党支持層がどの

とオリンピックより10%近く評価が高くなっているのが特徴だ。④また新型コロナ対策は、政権が変わっても引き続き問われ続ける政策で、少なくとも安倍・菅の2代の政権では国民の評価は厳しく、支持率を直撃する課題だった。8月も政府のコロナ対策を「評価する」のは26.2%にとどまり、「評価しない」が64.0%と厳しいものだった(10社平均)。

試しに昨年2月以降19ヶ月間の「政府のコロナ対応をどう評価するか」という調査を平均化してみると「評価する」が36.1%、「評価しない」が53.0%と、やはり国民の評価は全般的に厳しく、評価が良かったのは菅内閣が誕生しての3ヶ月間だけだった(※この一連の図表は6月・7月レポートを参照)。

菅内閣の出した緊急事態宣言も「緩すぎる」「効果がない」という声が当たり前のよう聞かれる

医療供給体制(自宅療養基本)について

	納得できる	できない
JNN8.9	36	59
NHK8.10	43	52
平均	39.5	55.5
	十分と感じる	感じない
ANN8.23	14	75

同上-病院受け入れ強化の法改正

	必要ある	必要ない
ANN8.23	73	14
日経8.30	73	18
平均	73.0	16.0

政府の病床確保に不安を感じるか

	感じる	感じない
共同8.16	79.9	18.3

日本の医療が崩壊する不安は?

	不安だ	不案ない
毎日8.28	70	15

新型コロナへの感染の不安は

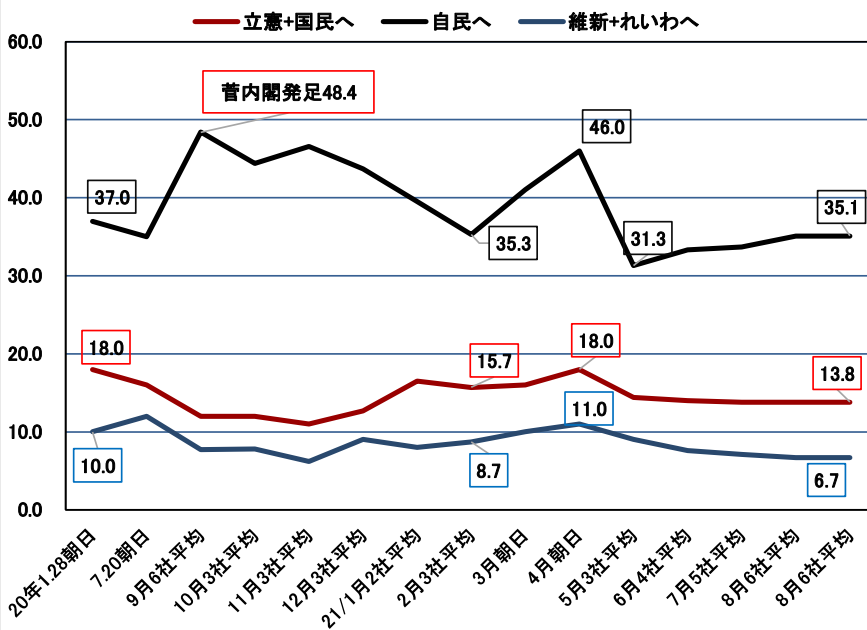
	感じている	感じない
NHK8.10	85	13

⑤ワクチン接種は9月2日現在で[1回目接種55.44%・7048万人、2回目接種44.74%・5688万人]と報道されている(NHK)。

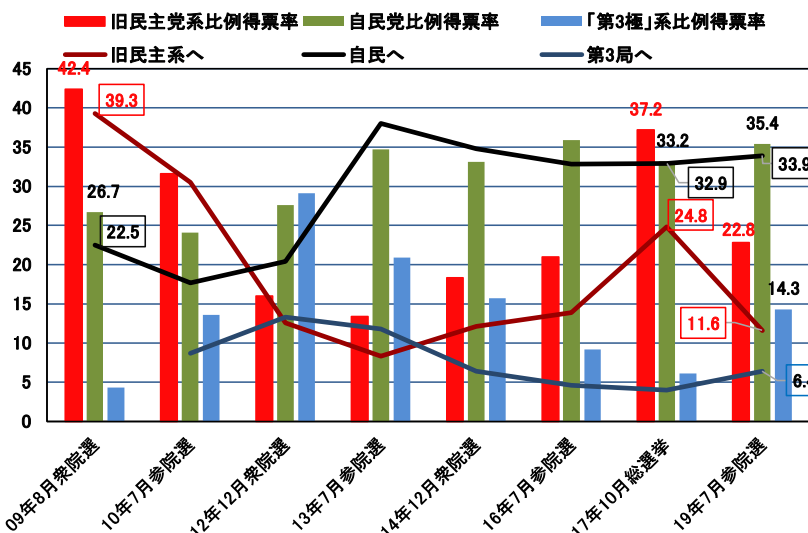
「ワクチン一本やりのコロナ対策」と批判される菅内閣の姿勢に対して、政府の取り組みに対する批判は相変わらず強く、「順調だ」と思っている人は22.9%に過ぎず、71.7%は「遅い」と批判している(5社平均)。またワクチン接種が拡大しても感染が収束すると「思わない」人が2/3(64.6%)もいるのが実態だ(FNN)。

こうした中で、ワクチン接種後の経済社会活動の制限緩和をめぐる議論が進んでいる。ポスト菅政権にも早速にも問われる課題となる。既に政府の感染症対策分科会の提言が出されているが、接種証明書や検査の陰性証明書を活用した活動再開が今後具体化してくる。8月の調査ではワクチンパスポートの発行や(賛成46%・反対28%)、これを条件とする活動再開に対しては、「飲

2021衆院選－比例投票はどの党に(各社平均)



過去の衆参比例投票傾向分析(各社平均)



程度自信を回復するのか、国民世論がどの程度新政権に同調反応を示すのかによっては、微妙な変化が出てくることも想定しておく必要があるだろう。

左図は「あなたは次の衆院選挙ではどの政党に(比例)投票しますか」という問いに対する調査結果である。昨年1月からの調査を線グラフで表した。「自民党へ」投票するというのは直近の8月(6社平均)で35.1%。昨年の菅内閣発足時は一時的に48.4%に上昇したが最近は「だいたい基礎体力に見合った数値に落ち着いてきたな」というのが感想だが、来月以降、とくに選挙直前には、一時的な昂揚で予想以上の数字になるとしたら要注意だ。

ただし左図を見ても分かるように、自民党は、民主党から政権を奪取してから5回の選挙でも、この傾向調査「自民党へ」ではほぼ33%～35%前後で固定されたように推移するようになってきている。自民党の得票獲得能力もだいたい比例得票で約1700～1800万票程度だ。自民党が再び活性化しても、かつての小泉ブームの時のように2500万票を超えるような得票をすることは最早あり

えないだろうが、若干の、一時的な変化が起こらないとは言えない。

⑦これに対して野党の側では、立憲民主党の8月の支持率は7.5%。7月より0.1%上がっただけで、構造的な劣勢には変化が見られない。8月の比例投票傾向は「立憲へ」が12.2%、「国民へ」1.6%、合わせて13.8%だ。これは2019年参院選直前の11.6%よりは高いが、2017年の衆院選で「立憲+希望」の

24.8%よりは11%ほど低

くなっている。

旧民主党系の勢力は政権崩壊後の退潮は覆うべくもないが、同時に「第3極」勢力も衰退し、その分最大政治勢力は「無党派」という現象が続いている。このため2019年参院選時には、旧民主系(立憲+国

政党支持率

8月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	NHK	支持なし
日経8.30	39	11	0	3	5	0	4	0	0	33
毎日8.28	26	10	1	3	5	1	8	2	1	42
読売8.10	32	5	0	3	3	0	2	0	0	49
朝日8.9	32	6	1	2	3	0	1	0	0	47
共同8.16	39.5	11.6	1.2	4.5	4.7	0.5	6.0	1.4	0.7	27.3
時事8.13	29.0	3.9	0.3	4.5	1.3	0.2	2.0	0.2	0.0	61.4
NHK8.10	33.4	6.4	0.8	3.7	3.3	0.5	1.7	0.2	0.2	42.8
JNN8.9	32.4	5.4	0.6	3.5	2.1	0.2	2.8	0.6	0.0	48.7
ANN8.23	46.6	8.1	0.5	2.9	4.1	0.5	2.6	0.2	0.1	33.6
平均	34.4	7.5	0.6	3.3	3.5	0.3	3.3	0.5	0.2	42.8
7月平均	34.1	7.4	0.8	3.7	3.5	0.3	3.1	0.4	0.1	42.2
前月比	0.4	0.1	-0.2	-0.3	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.6
参考FNN	33.5	6.6	0.6	3.5	2.4	0.4	3.0	0.7	0.3	44.6

Q次の選挙では？－事前調査と選挙結果の傾向

	民主系 へa	a比例得 票率b	自民へ c	c比例得 票率d	b/a	d/c
13年参院選	8.3	13.4	38	34.7	1.61	0.91
14年衆院選	12.1	18.3	34.8	33.1	1.51	0.95
16年参院選	13.9	21.0	32.8	35.9	1.51	1.09
17年衆院選	24.8	37.2	32.9	33.2	1.50	1.01
19年参院選	11.6	22.8	33.9	35.4	1.97	1.04

民)の比例得票は、世論調査時のほぼ2倍の得票結果に恵まれるようになった。無党派と言えども、選挙では「どこかの政党に投票するしかない」という消極的選択のおかげである。

反して自民党は、前回衆院選の2017年では「自民党へ」32.9%、「比例得票結果」33.2%。世論調査における「自民党へ」という傾向調査とほとんど変わらぬ結果しか得られない状態が続いている。前回衆院選挙では、自民党は「284議席を獲得する大勝」を果たした。しかし当時の読売新聞の試算では「野党系が競合した227選挙区では、野党が結束すれば64選挙区で与党候補を上回った」(読売)とのことである。この試算は朝日では「63選挙区」、毎日では「84選挙区」と開きはあるが、先の自民党の調査「250±10」程度の予測はほぼ確実なのである。

いずれにせよ、当面は自民党総裁選挙の成り行きを見守りつつも、野党が結束した選挙戦に臨んでいくことが出来るかが前提となる。

4. その他 …掲載できなかったその他の調査項目は以下の通り。

秋の総選挙では与野党議席増期待は

- 朝日8.9 ①与党が増に期待 15
②野党が増に期待 37
③今と変わらないままが良い 34

次の首相にふさわしいのは？

- JNN8.9 ①石破 20 ②河野 17
③小泉 12 ④菅 5 ⑤岸田 4
⑥野田 3 ⑦茂木/加藤 2
読売8.10 ①石破 19 ②河野 18
③小泉 17 ④安倍 10 ⑤岸田 4
⑥菅 3 ⑦野田 2 ⑧茂木/加藤/高市 1
ANN8.23 ①石破 19 ②河野 15
③小泉 11 ④菅 8 ⑤岸田 5
⑥野田 3 ⑦高市 2 ⑧茂木/加藤/下村 1
FNN8.23 ①河野 17.9 ②石破 15.5
③小泉 11.4 ④安倍 8.6 ⑤枝野 4.3
⑥岸田 3.5 ⑦菅 2.5 ⑧高市 1.5
⑨野田 1.1 ⑩茂木 0.8 ⑪加藤 0.5
⑫下村 0.2 ⑬西村 0.3

- 毎日8.28 ①石破 104人 ②河野 82
③菅 76 ④岸田 75 ⑤安倍/高市 24
⑦小泉 18 …?下村 1

- 日経8.30 ①河野 16 ②石破 16
③岸田 13 ④菅 11 ⑤小泉 9
⑥安倍 7

新総裁に優先してほしい政策課題は

- 日経8.30 ①新型コロナ対策 53
②景気回復 37 ③年金医療介護 33
④子育て少子化対策26 ⑤財政再建23
○防災 17 ○行政規制改革 11

東京五輪は楽しめたか

- 毎日8.28 ①楽しめた 53
②楽しむ気持ちになれなかった 26
③もともと楽しみにしてなかった 21
五輪で最も印象に残った競技は
朝日8.9 ①卓球 17 ②柔道 16
③野球 12 ④ソフトボール 6
⑥陸上6 ⑦サッカー5 ⑧スケートボード4
⑨体操4 ⑩バスケットボール4 ⑪水泳3
⑫特にない 8

五輪の開催方法についての是非

- 読売8.10 ①観客を少しでも入れる12
②無観客で開催 61 ③中止 25
時事8.13 ①観客を入れる 6.7
②無観客 68.1 ③中止または延期 20.9

五輪－今後も日本で開催してほしいか

	そう思う	思わない
読売8.10	57	38
毎日8.28	70	21
平均	63.5	29.5

感染が拡大する理由は？

- 毎日8.28 ①行政の責任が重い 46
②感染対策を守らない人が悪い 32
③新しいウイルスなので仕方ない 21

今夏の旅行計画は？

- 読売8.10 ①県境を越えた旅行 6
②近場へ旅行 9 ③旅行は控える 84

アフガニスタンの米軍撤退について

	肯定的	否定的
毎日8.28	42	28

新型コロナ－首相の姿勢を信頼できるか

	信頼できる	できない
朝日8.9	23	66

ワクチンの接種について

- JNN8.9 ①接種したい 28
②したくない 13 ③もう接種した 57
日経8.30 ①直ちに接種したい 12
②したくない 3 ③もう接種した 70
④見極めてから接種 14

ワクチンの接種は受けたか

- 毎日8.28 ①1回受けた 13
②2回受けた59 ③予約取れたがまだ 11
④予約取れない 7 ⑤まだ迷っている 5
⑥接種は受けない 4

ワクチン接種の政府の対応は

	評価する	評価しない
読売8.10	38	58
ANN8.23	24	65

ワクチン－希望する国民に11月末までに

	できると思う	思わない
JNN8.9	26	66

新型コロナ感染で重症化する不安は

	不安を感じる	感じない
朝日8.9	79	20

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

(北海道世論調査会まとめ)